



「モラルやマナー・ルールを大切にする 風土(人)づくり」事業

まちづくりは人づくりから

モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり事業
の取り組みの概要 図1



本市教育委員会では、すべての人がルールを守り、マナーを大切にし、モラル豊かに生きることができる風土(人)づくりを進めるため、『モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり事業』に取り組んでいます。

今回は、これまでに開催してきた推進委員会で、現場からの声をもとに集約した家庭・地域・学校それぞれの課題や問題、それに対する具体的な取り組みなど、検討してきた内容についてお知らせします。

事業の位置づけ

「モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり事業」は、第8次鳥取市総合計画のまちづくりの基本政策の一つである「明日を担うひとづくり」を進めるうえで重要な施策です。

家庭・学校・地域が一体となってモラルの向上やマナー・ルールの大切さを市民のみなさんに再認識していただき、大人が子どもたちに、物事のけじめや善悪を教える風

土(人)づくりを築いていきます。

事業の展開

この事業は、啓発活動をしつくりと地道に続け、長期的な見通しをもって取り組み、「自分たちの住むまちを良くしたい」という市民のみなさん

まず、大人が本気になって取り組める環境づくりの醸成に努めます。

具体的な取り組み

平成17年度「モラルやマナー・ルールを大切にする風土(人)づくり事業」推進委員会で話し合われた現状の課題や問題解決の視点・提言をもとに取り組み方を提案していきます(図2)。

特にその中で、全市一体での取り組みとして、あいさつの励行を推進していきます。

これは、推進委員会の話し合いのなかで、「モラルやマナー・ルールを大切にするこ